

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第184号

発行日 2017年3月1日発行

2月18日 ~第19回 感謝の集い~

皆さまこんにちは、社長の近藤です。2月18日に第19回となる「感謝の集い」を開催しました。昨年同様、今年も3部構成で経営方針説明会、講演会、懇親パーティーをさせていただきました。

大変お忙しい中120名もの方にお越しいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

経営方針説明会の中で私からは、昨年の振り返りと今後の方針についてお話をさせていただきました。昨年の反省を今期に活かしていくためにも、3つの方針を年初から掲げています。それは、①尽くす ②Try everything ③周囲に喜びを与える、です。どれも商売の原点と言えるものかもしれませんが、基本に立ち返り今年1年取り組んで参ります。

講演会ではお二人のゲストをお招きしました。お一人目は萩原孝一様です。過去にアフリカとのご縁や国際リサイクル会議の開催などで大変お世話になっております。講演内容もスピリチュアルな話も多く、もっともっと聞きたくなるような内容でした。弊社では昨年出版された萩原さんの書籍を、全社員で読み全員で感想文を書きました。

もうお一方は神田昌典様です。今年で5年連続で講演を依頼しています。毎年のことですが、未来を見据えた講演

内容で、これからの未来に勇気をいただくことができます。情報爆発の時代に、いかにシンプルなモデルを構築することが重要であるかなど、具体例も交えてとても内容の濃いお話でした。

ご参加いただいた方の中には、日頃からお世話になっている車関係の方から異業種の方まで、著名な方にもお越しいただき、私たちが多くのエネルギーをいただいたような気持ちです。改めて素敵な方々にご縁をいただき、支えていただいていることを実感しました。皆様にもっともっと喜んでいただけるよう、今後も日々精進して参ります。



素敵な会社のご紹介

今回は富山県にある株式会社ハセ川自動車をご紹介致します。国内部品販売で全国的にも有名な会社ですが、輸出向けの販売も活発にされています。UAE・ロシア・パキスタン向けなど多岐に渡って販売されています。2012年には本社機能を現在の新工場に移転されましたが、5年目を迎えた今でも工場はとてもきれいで5Sが行き届いています。

滞在中の海外のお客様達も日本人スタッフに見習い、工場の美化に務めていました。やはり、「人」って国籍は違っても周りの環境によって良い影響を受けるんですね！私達も見習い取り組んでいきます。

またハセ川自動車様の工場は、スタッフの方達が動く動線の所はほとんど屋根がついているんです！長谷川会長の社員様に対する思いが伝わってくるようです。またハセ川自動車様は営業ナンバーを取得した自社トレーラーでコンテナを自ら港まで搬入したり、その他引き取り車両も数台準備し、経費を抑える工夫もされています。売上アップだけではなく、経費削減も意識し業務を営んでいらっっしゃいます。良い点はお互いに共有し、成長していけたらとあらためて思う今日この頃です。（担当：高崎）



農業の取り組み ～ 農業事業部より ～



降雪量は少ないですが、気温が氷点下まで冷え込む厳しい日もある冬となりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

会宝農園では、通年栽培に取り組んでいます。北陸の厳しい冬でもトマトを育てることのできる当農園の強い味方は、廃油を熱源とした「温風機」の存在です。自動車リサイクル業を営む当社ならではの技術ですが、将来農業界で広く活用されていくことを願い、ご紹介をしていくことも考えております。

さて、我が社では毎年2月に「感謝の集い」を行っております。日頃お世話になっている皆様に感謝の気持ちを伝える大きなチャンスです。今年はそこでトマトの試食&販売を行いました！試食して下さった方が口々に「おいしい！」という感想を寄せてくださいました！会宝産業の家族も参加しており、お子さんたちもトマトを試食し、「もう1つちょうだい！！」と何度も試食コーナーを往復する姿がとても微笑ましかったです。

今年の感謝の集いでは会場であるホテル日航のシェフとコラボして、特別メニューを作っていただきました。懇親パーティーでは、シェフの方からは「大粒で肉厚な果肉なので加熱しても煮崩れる事がない素晴らしい素材ですね」というお声をいただきました！料理のプロからも評価をいただけるおいしいトマトづくりをこれからも研究・実践していきます。（担当：畠中）



☆冬から春にかけても「しあわせのトマト」はすくすくと育っています！
食卓に彩りを添え、健康にプラスなトマトをぜひご賞味くださいませ♪
【会宝農園インターネットショッピングサイト】 <http://agribalance.jp/>



社員海外レポート

From 
China

国際業務部の李炳哲です。中国の大連出身です。今月と来月2回に渡って中国のお正月について紹介します。

今年は1月28日が中国の旧正月です。旧正月とは春節とも呼ばれますが中国のお正月で伝統ある祝い事であり、中国だけではなく、全世界の華人にとって最も大切な伝統的な祝日です。春節は国民の祝日で多くの人は1週間の連休になります。

春節が近づくと人々は年越し用品を買い、大晦日には家族みんなそろって夕食を食べます。そして吉祥とおめでたい気分を表す絵や対聯(「ついでん」といい、おめでたい言葉を赤い紙に書き、門や入り口の框に貼るもので新年を祝い邪気を払う言葉を書く)を掛けたり、生き生きとした植物で部屋を飾ったりして新しい年を迎えます。食卓には、餃子や餅など、盛りだくさんの食べ物が並びます。街の至る所が飾り付けされ、爆竹が鳴り、互いに新年の挨拶を交わし、龍と獅の踊りや屋台なども多く出店されます。

中国の旧暦は中国の十二支に基づいています。中国の十二支には、ねずみ、牛、虎、うさぎ、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の12種類の動物がいます。それぞれの動物は12年のサイクルで循環していて、春節の旧暦1月1日から新しく始まります。今年2017年は中国の十二支では「鶏」の年です。これは日本も同じですね。

来月は中国の伝統のお祝いを紹介します！どうぞお楽しみに！



今月のパチリ☆



こんにちは。他のコーナーでもお伝えしているとおり、2月18日に第19回感謝の集いを開催しました。この感謝の集いは、日頃からお世話になっているお客様に感謝をお伝えし、楽しんでいただくことを目的として開催していますが、同時に社員を支えてくれている家族への感謝の気持ちも込めて行っています。

今年は34名の家族が参加してくれました。普段なかなか会うことがない家族の方々と会って話すると、会社では見えない家庭での意外な一面が聞けてとても盛り上がります。また、毎年参加してくれる子供たちが一年で大きく成長した姿が見られることもとても嬉しいことです。

社員一人一人がお客様、そして家族に感謝の気持ちを新たにしたい一日でした。

※写真は受付を担当した男性社員です。

(担当：松本)



相場情報 ～生産部より～

こんにちは。会宝産業の山口です。北陸の2月は大雪のイメージが有りますが、金沢市内では殆ど積もる日はありませんでした。さて、鉄相場は・・・



2月は輸出値につられて若干の上がり調子となったのではないのでしょうか。関西でも同じような動きでしたが、あくまでも需要が増えたわけではなく、大手製鐵会社の価格に周りが合わせたようでした。但し、原油の価格も下がってきているようなので、注意が必要です。

一方、非鉄相場に関しては中国の春節明けにマグネシウムが一気に上がるなど一部で期待が見られましたが、同時に上がった銅相場は早くも下降の一途を辿っております。不動産に関わる政策が大きい要因ようですが、いずれにしてもしばらくは綱渡りの状態が続きそうですね。

6 Month Copper USD / lb



KME 銅価格チャート

今月のトピックス

～ ツエーゲン金沢 キックオフパーティー ～

2月20日に、「ツエーゲン金沢 キックオフパーティー」が開催され、参加してきました。早いもので、弊社もスポンサーになって6年目に突入しました。当日は、チーム関係者、スポンサー企業そしてサポーターの皆さん総勢600人以上の方が集まりました。昨年は残留争いをする中で、J2とJ3の入替え戦まで経験しましたが、そこを共に勝ち抜いた一体感が今年も継続しているような雰囲気でした。

今年から監督を務められる柳下監督のコメントも決意を感じるものでした。コメントの語尾が「～したい」や「～と思います」ではなく、常に「～やります」や「～します」で終わり、一緒に聞いていた知り合いの方も「なんか今までと全然違うな～」と話していました。やはり延べ8年もJ1で監督をされてきた方は違うかと、参加された方は感じたと思います。

またこれまでも色々とありましたが、パートナー企業同士が繋がっていくことで、今まで以上の相乗効果を生み出せる可能性も感じました。弊社もスポンサー企業として、できる限りのサポートを今年も行っていきます。(担当：佐藤)



会宝産業株式会社

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

車輛課 (車輛引取り・査定)

TEL 076-237-5347 (直通電話ができました!)

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

部品課 (部品注文/担当:大森・角島)

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)

